

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
プロダクトデザイン科											
プロダクトデザイン実習3A											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	下総良則			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
素材・構造の面からプロダクトデザインの知識と技術を学ぶ。粘土、シリコン、樹脂等、複数種の素材の特性と扱い方を実践形式で学習する。またテープカッター（仮）の構造要件および使用要件を見きわめたうえでのデザイン展開を行う。											
到達目標											
簡単な構造の工業デザインを行う上での技術知識を習得することを目標にする。											
授業方法											
公儀におけるプロダクトデザインの意味や位置づけ、考え方などを学ぶ。モノ、コトの成り立ちを知るとともに、経済的側面、生産的側面を考慮しながら課題を進める。各種要求項目、および設計条件を割り出し、それに則ったイメージづくりからアイディア展開、モデル化、の流れを経験し、スケッチワークやモデリングワークにおける造形表現手法を学習する。											
成績評価方法											
課題完成度40% 提出課題の完成度を評価する。 リサーチ20% 制作準備と過程を評価する。 相談検証20% 制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する。 プレゼン20% 制作物の発表方法、内容について評価する。											
履修上の注意											
工具・機具を使用した模型製作時怪我をしないよう注意して進める。スケジュールに則り、プレゼンテーションに遅れの出ないように学生自身がマネジメントして進める。制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員か補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。授業時限数の3/4以上出席しない者、未提出課題がある者は不合格とする。											
教科書教材											
レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第 1 回	ガイダンス										
第 2 回	スピードフォーム・素材変換 1										
第 3 回	スピードフォーム・素材変換 2										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
プロダクトデザイン科	
プロダクトデザイン実習3A	
第4回	スピードフォーム・素材変換 3
第5回	スピードフォーム・素材変換 4
第6回	スピードフォーム・素材変換 5
第7回	調査・条件検証
第8回	アイディア出し コンセプト立案
第9回	アイディアスケッチ
第10回	スケッチ検討会・アイディア再検討
第11回	作図・模型製作準備
第12回	模型製作 1
第13回	模型製作 2
第14回	プレゼンテーション準備
第15回	プレゼンテーション・講評